

## バイオサイエンス学科 論文発表

【発表者について】 アンダーラインは本学教員および研究員、※は大学院生、卒研究生または卒業生

題名	Visualisation of abscisic acid and 12-oxo-phytodienoic acid in immature Phaseolus vulgaris L. seeds using desorption electrospray ionisation-imaging mass spectrometry
掲載雑誌	Scientific Reports (2017) 7:42977   DOI: 10.1038/srep42977
著者	<u>Hirofumi Enomoto, Takuya Sensu</u> ※, <u>Kei Sato</u> ※, Futoshi Sato, Thanai Paxton, Emi Yumoto, Koji Miyamoto, Masashi Asahina, Takao Yokota, Hisakazu Yamane
概要	本論文では、インゲンマメの未熟種子を用いて、種子の成長制御に重要なアブシジン酸および12-オキソ-フィトジエン酸といった植物ホルモンの、脱離エレクトロスプレーイオン化-イメージング質量分析法による可視化について報告しました。なお、本研究は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(S131052A01)の支援を受けて行ないました。